

7月6日(水) 泗水総合支所に七夕飾り

泗水幼稚園の園児 72人が作った七夕飾りを、年長組の園児が代表して泗水総合支所に贈呈しました。
 願いごとが書かれた短冊には、園児たちの思いの夢いっぱい願いが書かれていました。
 寄贈された七夕飾りは、泗水総合支所庁舎玄関ホールに、7月26日まで飾られました。



七夕飾りを持ってきた
泗水幼稚園年長組の園児たち

7月9日(土) 第12回輝き大会 菊池・阿蘇ブロック大会

知的障害者がスポーツを通して、心身の発達と健康の維持増進を図り、自立への意欲を高揚するとともに、社会参加への希望と勇気を与えることを目的とした第12回「輝き大会」菊池・阿蘇ブロック大会が、合志町ヴィーブルでありました。



当日は大雨警報のでる荒天の中でしたが、たくさんの皆さんが応援にこられ、その声援のもと選手の皆さんもパン食い競争、つなひき、リレー競技などでいい汗を流し、活気に満ち溢れた大会となりました。
 来年は、阿蘇地区で開催される予定です。より多くの皆さんの参加をお待ちしております。



菊池市文化会館であった「菊池市集会」の開会行事

この集会は、青少年をとりまく有害環境を排除し、青少年の非行防止と罪を犯した人たちの更生に理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的に開かれているものです。
 菊池女子高校生3人の司会が始まり、法務大臣・梶野史郎からのメッセージを保護司会代表、更生保護女性会代表が朗読し、市長へ伝達しました。

7月20日(土)に「菊池市集会」が菊池市文化会館であり、保護司会、更生保護女性会、青少年育成推進員、区長会、民生児童委員、老人クラブ連合会、PTA、七城・旭志・泗水総合支所関係団体、菊池市中央公民館各講座など45団体の関係者や小中高生など約700人が参加しました。

第55回社会を明るくする運動 菊池市集会

7月15日(金) 下赤星区で精霊流し

下赤星区にある正林寺前の水路で精霊流しがありました。
 去年の秋にテレビ番組で精霊流しのシーンが同じ場所で撮影され、それに数人の子どもや区民がエキストラとして参加したのがきっかけとなり、子ども会などが主体となって準備し、今回初めて行われました。

あたりが暗くなると、前田幸男さんなどが作った精霊舟約30隻に付けられた口ウソクに灯りがともされ、ゆっくりと水路に流されました。舟は、幻想的な灯りをゆらゆらと水面に映しながら、下流へと流れていきました。



精霊舟をゆくりと水路に流す子どもたち

7月20日(水) 夏のおはなし会



菊池池母親クラブ(地域組織活動クラブ)主催で初めてあったおはなし会

菊池市西部市民センターで、夏のおはなし会がありました。

親子で本に親しんでもらうことを目的に「菊池池小読み聞かせボランティアの会」との協賛により、企画から実演まで、手作りによる初めてのおはなし会でした。

読み聞かせボランティアの会によるブラックシアター「くもの糸」のお話や、「エプロンおばちゃん(代表宮本栄子さん)」による「あらしの夜に」など盛りだくさんの内容で、子どもたちは楽しそうに耳を傾けていました。

7月23日(土) よっといで夜市2005 午後6時～午後10時

迎町・中央通・立町商店街を歩行者天国にし、子ども映画祭やよさこいソーラン演舞、ハワイアンフラダンスなどの楽しい催し物の他、ヨーカ堂駐車場で、焼き鳥・そうめん・スーパーボールすくいなどの出店が見られ、多くの親子連れで賑わいました。
 また、午後7時より子白龍神輿が中央通に初登場しました。



子白龍神輿の初披露

講演では、NGO沖縄アジアチャイルドサポート代表理事・特定非営利活動法人(NPO法人)・沖縄大学非常勤講師・沖縄市平和行政推進委員の池間哲郎さんが「閉ざされた世界の中で」懸念に生きる子どもたち」と題して、アジアのゴミ捨て場やスラムなどの貧困地域に、撮影や支援のために足を運び、そこで見た貧しい人々の過

福村三男会長(菊池市長)のあいさつに続いての作文発表では、菊池北小学校6年生の緒方敦子さんが「私は雀の救急隊 雀も私の救急隊」と、水源小学校6年生の武藤泰裕くんが「あいさつ言葉づかい」と、菊池高校1年生の池上輝くんが「自分が頑張れること」と題してそれぞれ発表し、人との出会いの大切さなど、自分の思いや考えを伝えました。



作文発表者の表彰と作文発表。左から緒方敦子さん、武藤泰裕くん、池上輝くん

池間さんが「アジアの貧困地域の子どもたちに対して日本の子どもたちは「親に感謝する気持ちや生きる力」が足りない。私たちにできることは、貧困地域の現状を理解し、そして、子どもたちから一生懸命生きるこの大切さを学んで欲しい」と訴えると、会場からは、大きな拍手が送られました。
 参加者の皆さん、ありがとうございました。



池間哲郎さんの講演会

まちの安全は私たちが守る

7月17日(日) 第1回菊池市支部消防団操法大会

菊池市消防団の操法大会が菊池市総合体育館前駐車場であり、小型ポンプの部に、菊池・七城・旭志・泗水の各方面隊の予選会を勝ち抜いた22チームと本部機動隊3チームが、ポンプ車の部に1チームの計26チームが参加し、選手たちは連日の訓練の成果を披露しました。
 多目的グラウンドであった開会式には、各方面隊25分団の団員約1,600人が集合し、村上忠吉団長が「新菊池市消防団が誕生し初めての大会です。この操法は火災時における消火作業の基本です」などとあいさつ。総合体育館前駐車場に場所を移し競技がありました。



火点側で放水管の操作をする指揮者(右)と1番員(左)



水利側で吸管を伸ばす2番員(左)と3番員(右)

競技は水槽にためられた水をポンプで吸い上げ、ホースを伸ばして約60メートル先の標的を放水した水で倒すというもので、その速さと動き、号令の正確さなどで競われました。
 上位の結果は、次のとおりです。

- 小型ポンプの部
 - 優勝 泗水方面隊第4分団1部2班(㊤ 富)
 - 2位 本部機動隊(七城班)
 - 3位 菊池方面隊第8分団第3部(㊤ 上赤星・下赤星)



ポンプ車操法の2線放水